



J S 技術開発情報メール

2015. 5. 18 No. 162



いつも「J S 技術開発情報メール」をお読み頂き、ありがとうございます。
連休明け、仕事モードに切り替えるのが大変です。
それでは今月号も最後までおつきあいくださいませ。



《 もくじ 》



『1』はじめに

- ◆「現場実践」 (技術戦略部長 畑田 正憲)

『2』トピックス

- ◇国交省 B-DASH プロジェクトに採択されました (技術開発企画課)

『3』技術情報

- ◆共同研究 (技術開発企画課)
- ◇よく見かける下水道用語 (技術開発企画課)

『4』「ふくしまからはじめよう。」

(福島再生プロジェクト推進室長 石井 宏和)

『5』ソリューション推進室からのお知らせ

- ◆「お手伝いします」 (ソリューション推進室推進役 中村 芳男)

『6』下水道よもやま話

- ◇多摩川のアユ (技術戦略部次長 三宮 武)

『7』国・公共団体・企業の主に海外の水関連の動き (4月分) (国際戦略室)

『8』編集後記

~~~~~  
《 1 はじめに 》  
~~~~~

◆◇「現場実践」◇◆

「現場」とは？工場や建設現場を思い浮かべるかもしれませんが、私は、実際にモノを作りサービスを提供する場所や空間などを指し、価値を創造する場であると捉えています。先月のメルマガで現場での成功のカギは「人」「心」「交流」だったと書きました。

私の経験や考えを少し整理すると

「人」・・・現場での主役は実践に携わる人（達）であり、所属や立場、専門、年齢、性別、性格、生立ちなど様々な個性を有する人で構成されています。

「心」・・・最近、新入社員に対して「礼儀正しく遠慮せず」で行こうと話しています。人はまず、礼儀正しい挨拶や言葉使いからその人の価値観や正義感などを、思っていることを素直に話せることによって熱意やある種のユーモアを含んだ好感が伝わります。

「交流」・・・人と人が何気ない会話や本音でのやり取りを通じて、お互いの人柄を知り気持ちを理解し合うとともに協調性や連帯感を育む場・機会と考えています。

JSはプロパー職員や国、県、政令市などからの出向者や監理員、事務員などさまざまな人達で構成され、比較的短期間での異動が宿命となっています。技術戦略部はまさにその縮図のような組織で、併任者12名を除くと総員27名、そのうち出向者は7名、専門は事務職まで入れて7職種、男性21名女性6名で構成されています。

したがって人と人とが垣根を越え和気藹々とした雰囲気を作っていくことが最も大切であり、お互いが知識を吸収し成長するとともに、新たな技術や価値を創造していくことができるのではないかと考えています。

技術戦略部長 畑田 正憲

~~~~~  
《 2 トピックス 》  
~~~~~

◆◇国交省 B-DASH プロジェクトに採択されました◇◆

JS と(株)東芝・(株)ユージェナ・日環特殊・(株)日水コン・佐賀市で共同提案していた「バイオガス中のCO2分離・回収と微細藻類培養への利用技術実証事業」が、国土交通省の実施する平成27年度「下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）」に採択されました。

▼詳細は記者発表資料を↓

<http://sv.jweb02/JwebCommon/0013Shinbun/h27kisya/270511kisya.pdf>

(技術開発企画課)

~~~~~  
《 3 技術情報 》  
~~~~~

◆◇共同研究◇◆

【共同研究 No.】165

【研究名称】膜分離活性汚泥法の導入促進に向けた技術開発
— 新規膜洗浄機構を用いた省エネルギー型 MBR の開発 —

【研究相手】JFE エンジニアリング株式会社

【実施期間】平成24～27年度

【研究内容】

本研究は、平成24年度に開始した膜分離活性汚泥法（MBR）に関する第4期公募型共同研究5件の一つです。処理水量当りの消費電力量原単位として0.4 kWh/m³以下で運転可能な省エネ型のMBRを開発することが目標です。

本研究では、従来の浸漬型MBRにおいて所要動力が大きい膜面の曝気洗浄に代わる新たな物理的洗浄方法として、水流による洗浄を行なう「新規膜洗浄機構」を導入することで、送風機動力の低減による省エネ化を図ります。これまでに、小型の実験プラントによる効果検証試験および数値シミュレーション（CFD）によるスケールアップ検討を実施しており、今後、JS技術開発実験センターにおいてパイロットプラントによる長期実証試験を実施していきます。

↓詳しくは、リーフレットをご参照下さい。

<http://www.jswa.go.jp/g/g2/pdf/165.pdf>

（技術開発企画課）

◆◇よく見かける下水道用語◆◇

「下水道事業における水素製造事業」

燃料電池自動車の販売が開始されるなど、近頃、水素社会の実現に向けた取組みが注目を集めています。水素は従来、原油に含まれる硫黄分の除去や光ファイバーの製造、マーガリンなど食品の硬化用原料など、様々な分野で利用されてきました。近年では、水素を燃焼させてもCO₂などの温室効果ガスを排出しないことから、次世代エネルギーとしての利用が注目されています。本号では、「下水道事業における水素製造」についてとりあげたいと思います。……

▼続きはHPで↓

<http://www.jswa.go.jp/g/g5/g5m/mb/pdf/162-1.pdf>

（技術開発企画課）

~~~~~  
《 4 ふくしまからはじめよう。 》  
~~~~~

◆◇ふくしまからはじめよう。◆◇

（福島再生プロジェクト推進室長 石井 宏和）

福島県特に福島盆地は桃の主な産地となっています。5月の連休前の4月中旬、福島盆地では桜に代わり桃の花が満開となりました。次の週に福島を訪れると、多くの桃畑で大きな桃を実らせるため摘花が行われ、連休明けには桃の花はすっかりなくなっていました。

代わって、郡山・福島盆地の一部の水田には水が張られ代掻きが行われており、天気の良い日には新幹線で移動中にも太陽の光が水田に反射しキラキラ輝きとてもきれいです。これから田植えの時期になります。……

▼続きはHPで↓

<http://www.jswa.go.jp/g/g5/g5m/mb/pdf/162-2.pdf>

~~~~~  
《 5 ソリューション推進室からのお知らせ 》  
~~~~~

◆◇「お手伝いします」◆◇

（ソリューション推進室推進役 中村 芳男）

皆さんゴールデンウィークはいかがお過ごしだったでしょうか。今年は休日の谷間が2日ずつ2回あったので、長期休暇を取られた方も多かったことと思います。

さて、ここで気分を切り替えて行きましょう。ソリューション推進室では、4月の異動により推進役とし

て新たに木下、三水及び中村が担当となりました。公共団体の皆様のソリューションパートナーとしてお役にたてるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。・・・・

▼続きはHPで↓

<http://www.jswa.go.jp/g/g5/g5m/mb/pdf/162-3.pdf>

~~~~~  
《 6 下水道よもやま話 》  
~~~~~

◆◇多摩川のアユ◇◆

(技術戦略部次長 三宮 武)

先日、NHKの番組(「ダーウィンが来た 生きもの新伝説」)の中で、「多摩川」を扱っていました。ご覧になった方も多いのではないかと思います。近年、多い年には、約1,000万匹のアユが多摩川を遡ることです。私の中では、多摩川に生息する魚と言えば、コイやフナを連想していましたが、これほど多くのアユが生息しているとは、驚きでした。何しろ、小学生の頃、多摩川という川を初めて知った時に得たイメージは、・・・・

▼続きはHPで↓

<http://www.jswa.go.jp/g/g5/g5m/y/pdf/y142.pdf>

~~~~~  
《 7 国・公共団体・企業の主に海外の水関連の動き(4月分) 》  
~~~~~

日付 キーワード URL

4/8 北九州市 日明浄化センター 国際戦略拠点竣工

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kouhou/k8400132.html>

4/14 韓国 第7回世界水フォーラム開催

<http://japan.iclei.org/news-and-events/news-details/article/7-2.html>

4/18 ベトナム 神鋼環境ソリューション 下水処理施設建設

<http://www.kobe-np.co.jp/news/keizai/201504/0007931667.shtml>

4/29 安全な飲み水 世界で8億人分不足

<http://mainichi.jp/select/news/20150429k0000e040162000c.html>

~~~~~  
《 8 編集後記 》  
~~~~~

今月号も最後まで読んで頂き、ありがとうございました。

ゴールデンウィーク、みなさまどのように過ごされましたか?

行楽地はどこも混み混みだったんでしょうね~。

今年は珍しくずっと天気が良かったので、クリーニング代節約ってことで、手洗いでできるダウンとか、電気毛布とかガンガン洗濯して、洗濯三昧!綺麗にして気持ちよ~く過ごしました。

連休が終わってしまうと6月は祝日もないし・・・お財布も寂しかったことだし、暫くはおとなしくしてましよう。

~~~~~  
《 読者の皆様へお願い 》  
~~~~~

送信不能で戻ってくる宛先が、ございますので、メルマガ配信先の確認作業をしています。
J S 技術開発情報メールが届かなくなった、宛先が違うので変更をなどの、ご連絡は

